

## 目 標

自治体への技術支援、地産地消による森林整備を通じて地域林産業に貢献する。

## 取組内容

### 【市町村技術向上研修会】

ドローン操作や基礎知識の習得、林業現場での活用を促進することを目的として、自治体林務担当者や森林組合及び林業事業体職員を対象とした研修会を振興局森林室と共催した。

安全飛行についての座学後に操作実習を行い、林業現場での活用事例としてメタシェイプによる画像のオルソ化について紹介した。



## 結果

初めて操作する参加者もあり、興味を持って操作実習に臨んでいる様子であった。

ドローンを所有していない自治体もあるため、実際に操作してもらう良い機会であった。

ドローンを活用した森林被害地調査について個別に相談を受けた自治体もあり、技術支援に繋がるよう、引き続き取り組んでいきたい。

### 【ダケカンバのバット材としての普及・啓発】

森林整備により出材された資源量の豊富なダケカンバをバット材として活用することにより、木材資源の有効活用と地場産業創出を図ることを目的に、令和2年から取り組んでいる。

今年1月に実施した試作バットの反発性能試験の結果を踏まえて、各種会議等の機会を捉え木材資源の有効活用を通じた持続的な森林整備と、地場産業創出の事例としての可能性について普及・啓発を図った。



各種会議等にダケカンババットを持参して実際に触れていただき、多くの方に興味を持っていただいた。

この取り組みを通じて森林整備の重要性や木材資源の有効活用の必要性、ダケカンバがバット材として利用可能であることについて説明しており、様々な立場の会議等参加者に対して広く理解を深めていただけたと考えている。

## 今年度の総括 次年度の予定

市町村有林に伺い、技術支援に向けて個別に話しをした自治体もあったが、結果として要請はなく、今年度の取り組みを顧みて次年度に繋げていく必要がある。次年度は自治体林務担当者等を対象とした研修会を国有林事業地で開催するなど、振興局と連携する中で研鑽の場を提供できるよう検討したい。

ダケカンババットの取り組みについては、プロ野球での採用に向けて産学官連携で盛んに取り組まれており、森林整備と木材資源の有効活用、地場産業の創出に繋がることを期待したい。